

平成 2 5 年度  
事業報告書

自 平成 2 5 年 4 月 1 日  
至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

一般社団法人日本音楽制作者連盟

## 【目次】

《平成25年度の事業内容》

1. 著作隣接権等の権利の擁護の推進及び研究
  - (1) 芸団協・実演家著作隣接権センター（CPRA）の運営…………… P. 2
  - (2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）…………… P. 2
  - (3) 音制連における著作隣接権委員会…………… P. 3
  - (4) 著作隣接権に係る権利行使の受任及び報酬等の分配…………… P. 3
  - (5) 隣接権データベースの整備…………… P. 3
  - (6) 未登録者への対応…………… P. 3
  - (7) 著作隣接権に係る報酬等の分配…………… P. 4
  - (8) 各種書類のデジタル化推進…………… P. 4
  
2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援
  - (1) ビジネスモデル研究…………… P. 4
  - (2) 違法配信対策…………… P. 6
  - (3) FMP 総合研究所…………… P. 6
  - (4) 海外視察…………… P. 7
  - (5) ライブ・エンタテインメント調査レポート…………… P. 7
  - (6) コンサートツアー中止保険…………… P. 7
  
3. 会員相互交流の促進及び情報発信
  - (1) 組織活性…………… P. 8
  - (2) 広報活動…………… P. 9
  - (3) セミナー、研修会の開催…………… P. 9
  
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
  - (1) 公益目的支出計画…………… P. 10
  - (2) 社会貢献の実現／東日本大震災の被災者支援…………… P. 10
  - (3) 海外展開支援事業「JAPAN NIGHT」…………… P. 11
  - (4) 音楽ミュージアム「MoMM」…………… P. 11
  - (5) 後援助成…………… P. 12
  - (6) 「細川 健 偲ぶ会」実施…………… P. 14
  - (7) 関係団体との協力…………… P. 14
  - (8) 協議会等への参加…………… P. 15
  - (9) 講師派遣…………… P. 16

## 平成25年度 事業報告書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

### 《平成25年度の事業内容》

#### 1. 著作隣接権等の権利の擁護の推進及び研究

##### (1) 芸団協・実演家著作隣接権センター（CPRA）の運営

日本音楽事業者協会（音事協）並びに演奏家権利処理合同機構 MPN（MPN）、映像実演権利者合同機構（PRE）と協力して、実演家著作隣接権センター（CPRA）の運営を行い、文化庁長官指定団体業務、著作権等管理事業法による管理事業、指定管理団体（私的録音補償金管理協会（sarah）、私的録画補償金管理協会（SARVH））からの委託による分配業務など、実演家の音楽・映像に係る下記①～③の権利処理業務について、正確かつ迅速な権利者分配が実施できるよう、実効的活動及び研究を行った。

CPRAは、最高意思決定機関として運営4団体の代表者により構成される『権利者団体会議』、CPRAに権利行使を委任した団体等から選任された13名の運営委員によって構成される『運営委員会』によって運営されており、音制連からは権利者団体会議1名、運営委員会4名が参画した。

特に今期は、権利者に対する分配拡大のため、平成26年度から5年間にわたり、商業用二次使用料、貸与報酬等の分配手数料削減を決定した。

##### ①文化庁長官指定団体業務

- ・商業用レコード二次使用料請求権に関する事項
- ・貸与報酬請求権（貸レコード使用料・報酬）に関する事項

##### ②著作権等管理事業法による管理事業業務

- ・商業用レコード放送用録音に関する事項
- ・放送番組二次利用一任型業務に関する事項
- ・商業用レコードの送信可能化権に関する事項

##### ③委託による分配業務

- ・私的録音補償金に関する事項
- ・私的録画補償金に関する事項

##### (2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）

放送番組等の映像コンテンツの権利処理窓口を一元化し、処理業務の効率化を目的に音事協並びに芸団協とともに設立した映像コンテンツ権利処理機構（aRma）に理事2名、運営委員5名を派遣し、映像コンテンツの二次利用に係る円滑な権利処理の実現に向けた活動を推進した。また、放送番組のネット上での利用等に関する協議を行う aRma と日本民間放送連盟（民放連）との連絡会議に委員を派遣した。

特に今期は、すでに分配業務を行っている地上波放送番組のCATV同時再送信報酬に加え、他の映像関連権利処理業務の可能性について検証し、将来の自走化に向けた検討を行った。

### (3) 音制連における著作隣接権委員会

前号(1)のCPRA運営並びに前号(2)のaRma運営に対し、音楽制作者の意見をより反映させることを目的として、著作隣接権委員会を設置し、諸課題の検討を行った。

また、IPサイマル放送等の新たなサービス事業者との協議の場を設け、プロダクション視点から提案を行った。

### (4) 著作隣接権に係る権利行使の受任及び報酬等の分配

CPRA及びaRmaが取り扱う以下の権利について、会員プロダクション及び権利を委任する音楽制作者より権利行使に関する委任を受けて、その権利報酬等について正確、且つ、迅速な権利者分配を実施した。

- ・ 商業用レコードの二次使用料及び放送用録音使用料
- ・ 商業用レコードの貸与に係る使用料及び報酬
- ・ 私的録音録画補償金
- ・ 放送番組のビデオ化等二次利用に関する報酬
- ・ CATVにおける地上波同時再送信報酬

### (5) 隣接権データベースの整備

CPRA隣接権使用料分配の基礎となる「隣接権データベース(アーティスト及びプロダクションの実演実績記録データベース)」については、平成24年度より、CPRAデータベースへ移管し、直接入力を開始している。当連盟では、これまでと同様に会員アーティストの実演情報を収集し、データの追加及び更新を行い、「商業用レコード放送二次使用料」「貸レコード使用料」「私的録音補償金」「私的録画補償金」の他、今後派生する実務的な課題解決のための研究及びデータ整備を行った。

### (6) 未登録者への対応

実演家の権利行使に関する委任のない音楽プロダクションやアーティスト等の音楽制作者に対し著作隣接権の啓発を行った。その具体策として、日本ダンスミュージック連盟(FDJ)等の関係団体との協力体制を強化し、未登録者の登録率を高めた。具体的には、新規53社(正会員、権利委任個人法人)の権利行使の委任を受け、計143アーティストが新たに登録された。

## (7) 著作権隣接権に係る報酬等の分配

＜＜平成25年度・会員への分配額（手数料控除後）＞＞

	平成24年度実績	平成25年度実績	前年比	備考
①貸レコード使用料	¥751,240,569	¥757,459,454	101%	H24年度徴収+判明者追加
②放送二次使用料	¥1,107,942,531	¥1,094,648,238	99%	H24年度徴収+判明者追加
③録音権	¥499,829,002	¥481,149,472	96%	H24年度徴収
④私的録音補償金	¥52,115,283	¥15,925,818	31%	H24年度徴収+判明者追加
⑤私的録画補償金	¥21,166,591	¥4,458,183	21%	H24年度徴収
⑥放送番組二次使用料	¥66,099,585	¥106,739,883	161%	H24年度徴収+判明者追加
⑦有線放送報酬	¥83,383,487	¥70,843,296	85%	H22～23年度徴収
分配総合計	¥2,581,777,048	¥2,531,224,344	98%	

## (8) 各種書類のデジタル化推進

現在、収集保存している各種書類について、収集データのデジタル化及び分配資料のデジタル化に向けて関係諸団体と協議を行った。

## 2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援

### (1) ビジネスモデル研究

音楽作品やコンサートのプロモーション展開、チケット・マーチャンダイジングの流通、各種メディアとの連携など幅広く今日のプロダクションビジネスにおける課題抽出を行い、将来を見据えたビジネスモデル研究を実施した。

特にプロダクションの活動領域拡張、業務の効率化を目的として FMP エンタープライズ事業部を設置し、専門スタッフ・アドバイザーを配して以下の各項事業を遂行した。

#### ①NEXUS-web サイト

プロダクションビジネスの拡大につながるよう音楽ファン向けサイト「NEXUS-web」を運営し、日々更新される音楽関連ニュース、アーティスト情報、作品情報、ライブ情報、アーティストコラム等の情報発信や外部の音楽イベントと連携し、速報ライブレポートの掲載を行い、サイトの登録ユーザーやアクセス数の増加を図った。

#### ②NEXUS ライブサポートプログラム

会員社所属アーティストの活動機会拡張と NEXUS-web サイトの活用促進を目的として、会員社からの公募による事業『NEXUS ライブサポートプログラム』を展開し、抽選により以下のライブを対象として、各公演の事前告知、速報若しくは公演後レポート、チケット情

報等の掲載を行った。

また、mmbi 社と連携し、同社が運営する携帯端末向けマルチメディア放送『NOTTV』においてライブから派生する関連コンテンツの活用を調査研究するため、番組製作を行った。

#### 《NEXUS ライブサポートプログラム》

- ・平成25年 4月 7日 (日) Tiara (インクストゥエンター) @PLEASURE PLEASURE
- ・平成25年 4月14日 (日) wacci (キューブ) @渋谷 0-WEST
- ・平成25年 4月29日 (月)  
SEBASTIAN X (ヒップランドミュージックコーポレーション) @上野水上野外音楽堂
- ・平成25年 5月10日 (金) lecca (アーティマージュ) @川崎 CLUB CITTA'
- ・平成25年 6月16日 (日) HaKU (アミューズ) @渋谷 CLUB QUATTRO
- ・平成25年 6月29日 (土) SION (バグ・コーポレーション) @日比谷野外音楽堂
- ・平成25年 7月 7日 (日) 下北沢音楽祭 (アクアミュージックプロダクツ) @下北沢
- ・平成25年 7月15日 (月) THE ラブ人間 (ソリッドボンド) @下北沢 GARDEN
- ・平成25年 7月20日 (土) Droog (スターダスト音楽出版) @渋谷チェルシーホテル
- ・平成25年 7月25日 (木) アンダーグラフ (ユーズミュージック) @渋谷 CLUB QUATTRO
- ・平成25年 8月 6日 (火) 白澤みさき (クレドプロモーション) @PLEASURE PLEASURE
- ・平成25年 8月21日 (水)  
UKFC on the Road (ユークエプロジェクト) @新木場 STUDIO COAST
- ・平成25年 8月22日 (木) Capppa (ビー・ジー・ビー・カンパニー) @ duo MUSIC EXCHANGE
- ・平成25年 9月 7日 (土) カフカ (BRIDGE RECORDS&AGENCY) @代官山 UNIT
- ・平成25年 9月21日 (土)  
鈴木康博 (キャピタルヴィレッジ) @渋谷区文化総合センター大和田
- ・平成25年10月13日 (日)  
ギルガメッシュ (マーヴェリック・ディー・シー) @SHIBUYA-AX
- ・平成25年11月 3日 (日) ジン (ディーゼルコーポレーション) @代官山 UNIT
- ・平成25年11月 4日 (月) Sissy (DG エージェント) @渋谷 0-WEST
- ・平成25年11月18日 (月) iMagic. (イノベーター) @渋谷 WWW
- ・平成25年12月21日 (土) SION (バグ・コーポレーション) @代官山 UNIT
- ・平成25年12月26日 (木) しなまゆ (フォーライフミュージック) @原宿 ASTRO HALL
- ・平成26年 2月11日 (火) 7!! (ボーダー・ランド) @赤坂 BLITZ
- ・平成26年 2月22日 (土) つじあやの (スピードスター・ミュージック) @キネマ倶楽部
- ・平成26年 3月26日 (水) lecca (アーティマージュ) @Zepp Tokyo

### ③チケット及びグッズ等の流通研究

コンサートチケットやアーティストグッズの流通における収益の向上や顧客情報の管理等の在り方について、音楽プロダクションの視点から調査研究を推進するため、「NEXUS-web」を活用した販売実験を行った。

売上個数：11,466個

売上代金：21,628,155円

FMPJ収入：648,299円

### ④音楽著作権・著作隣接権管理業務の効率化研究

FMPJ 経営企画室において、音楽作品の利用の多様化に伴う権利処理業務、すなわち登録から分配までの業務の効率化について調査研究を行い、会員社のニーズに沿った管理業務サービス提供について検討を行った。

### ⑤アーティスト ID 付番に関する研究

プロダクションビジネスの多角化及び効率化を目的として、アーティストを基軸としたコード付番について調査研究を行う勉強会「アーティストコモンズ」を新たに設置し、音楽関連諸団体や関連事業者、教育機関等との協議を開始した。

## (2) 違法配信対策

ネットワーク上での違法な音楽コンテンツ配信利用の防止を目的として、権利者8団体で設立した『STOP! 違法ダウンロード広報委員会』に参加し、音楽ユーザー向けの啓発・広報活動を展開した。

## (3) FMP 総合研究所

音楽制作を取り巻く環境が激変する中、音楽制作ビジネスの発展に寄与するため、音楽産業向けシンクタンクとしてFMP 総合研究所を運営し、各種の調査・研究、実証実験、データ整備、普及・広報活動を行った。特に、音楽産業の将来に大きな影響をもたらすであろう関係省庁並びに学会、情報・通信産業界等の動向の把握を目的として、勉強会や交流会を開催した。

また、アーティストの海外展開推進を目的としたプロジェクト『SYNC MUSIC JAPAN』の事務局機能を慶応大学メディアデザイン科に移行し、運営管理及び各種調整を依頼した。さらに、音楽プロダクションビジネスの多角化並びに権利処理業務の効率化を目指したプロジェクト「アーティストコモンズ」の運営を推進し、アーティストコードの付番に関する体系的な調査研究を依頼した。

#### (4) 海外視察

海外の音楽市場調査を目的として、以下の音楽コンベンション並びにコンテンツ関連フェスティバル等の視察を行った。また、「SYNC MUSIC JAPAN」を通じて、上記コンベンション並びにフェスティバルのオーガナイザーとの連携強化を推進し、イベント出演者の紹介やアーティスト情報の提供を行った。さらに、MIDEM 2014において各国のインディーズレーベルの会合 Worldwide Independent Network (WIN) に参加し、デジタル時代におけるインディーズレーベルの権利主張について、意見交換を行った。

##### ①MUSIC MATTERS

日 程：平成25年5月21日（火）～24日（金）

会 場：シンガポール

##### ②AFA (アニメ・フェスティバル・アジア)

日 程：平成25年11月8日（金）～10日（土）

会 場：シンガポール

来場者：総数8万5000人

##### ③MIDEM 2014

日 程：平成26年2月1日（土）～4日（火）

会 場：フランス・カンヌ

##### ④SXSW (サウス・バイ・サウス・ウエスト)

日 程：平成26年3月11日（火）～16日（日）

会 場：オースティン

#### (5) ライブ・エンタテインメント調査レポート

国内のライブエンタテインメント市場規模を把握するため、音事協並びにコンサートプロモーターズ協会 (ACPC)、MPAJ、JASRAC、主要プレイガイド、大手広告代理店等と協力し、「2013ライブ・エンタテインメント調査レポート」を編集発行した。

#### (6) コンサートツアー中止保険

コンサート経費が高騰する中、コンサート中止による損害は、会員社個々のリスク及び負担になっていることから、低廉な費用で加入可能な音制連コンサートツアー中止保険団体保証制度を提供し、音楽制作事業を側面から支援した。

### 3. 会員相互交流の促進及び情報発信

#### (1) 組織活性

会員サポート委員会において、入退会情報等の収集、管理並びに新入会員へのガイダンスを行った。

また、会員社をはじめ音楽業界全体の懇親、交流を目的としたNEW YEAR PARTY、会員相互の懇親を目的としたゴルフコンペ、映画試写会等の各種親睦会、交流会を開催した。

さらに、会員社の活動を多方面から支援する会員相談室「とりあえず音制連」を運営し、関連情報を広報誌「音楽主義」に連載した。

#### ①NEW YEAR PARTY

開催日：平成26年1月16日（木）（参加者1,439名）

会 場：セルリアンタワー東急ホテル ボールルーム

#### ②ゴルフコンペ

開催日：平成25年5月31日（金）（参加者104名）

会 場：姉ヶ崎カントリー倶楽部

開催日：平成25年11月26日（金）（参加者12名）

会 場：オーク・ヒルズ・カントリークラブ

#### ③映画試写会

開催日：平成25年4月8日（月）（参加者88名）

会 場：TOKYO FM ホール

作品名：カルテット

開催日：平成25年7月5日（金）《特別試写会》（参加者51名）

会 場：シネアーツ試写室

作品名：最後のマイ・ウェイ

開催日：平成25年11月8日（金）（参加者61名）

会 場：松竹試写室

作品名：鑑定士と顔のない依頼人

開催日：平成26年2月21日（金）（参加者110名）

会 場：スペースFS 汐留

作品名：ワン チャンス

#### ④とりあえず音制連

会員の経営管理、法務契約等のサポート施策として音楽主義誌上に『とりあえず！音制連』を掲載した。主なテーマは次の通り。

- ・消費増税！何がどうなるの？
- ・節税のための正しい知識
- ・「心の痛み（メンタルヘルス不調）」予防策
- ・自分を振り返る時間が「未来の私」をつくる～円滑なコミュニケーションのために～
- ・4月1日からの消費増税にともなう措置
- ・2014年以降、税金はこう変わる！

### (2) 広報活動

#### ①広報誌等の発行

フリーペーパー「音楽主義」の編集発行等を通じて、より多くの音楽業界関係者や音楽制作者を目指す学生、すべての音楽愛好家へ向けて著作権思想の啓発活動を行った。

また、「音楽主義」の配布先以外からの購読希望者に応えるべく、掲載内容を「NEXUS-web」サイトでも閲覧可能にした。

#### ②会員年鑑の発行

会員年鑑「GREEN BOOK 2014」の編集発行を行い、会員社の各種情報を収集した。

#### ③就職ガイドの発行

「就職ガイド」の編集発行を行い、音楽業界の人材不足が問題となっている現状を少しでも打開することを目指し広く配布した。「音楽主義」同様、掲載内容はホームページにおいても紹介した。

### (3) セミナー、研修会の開催

音楽制作事業に関連する諸問題に対応するため、また、会員社ビジネスの後方支援を目的に以下のセミナーを開催した。

#### ①SXSWS 2014 Music Festival 説明会

開催日：平成25年7月26日（金）（参加者計14名）

会場：音制連 会議室

内容：SXSWS 2014 Music Festival 開催説明について

講師：麻田 浩（SXSWS-ASIA）

#### ②実践！海外公演へ向けたチャレンジ～東アジア編～

開催日：平成25年9月4日（水）（参加者179名）

会 場：東京ウィメンズプラザホール

内 容：・海外公演&マーケット・メディアの現状

宮野治彦（CROONER PTE. LTD. C.E.O）

・海外展開事例 ニューカマー～キャリアアーティスト

千葉和利（バッドニュース 代表取締役）

横澤 優（アソジア 代表取締役）

・プロダクション視点で考える現状と展望

井上俊次（ランティス 代表取締役）

相馬信之（A-Sketch 代表取締役）

### ③税制改正セミナー

開催日：平成26年2月27日（木）・28日（金）

各日2回/計4回開催（参加者34名）

会 場：音制連 会議室

内 容：・コンサート関連

石川 篤（ディスクガレージ 常務取締役）

・マネージメント関連

白石 卓（ティーエスコンサルティング 代表取締役社長）

## 4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### （1）公益目的支出計画

平成23年2月の旧法人決算総会において確認された公益目的財産額について、新制度に則り、公益目的支出計画を立案し、以下の事業を実施した。

- ・音楽ミュージアム「MoMM」
- ・違法ダウンロードキャンペーン
- ・Web NEXUS 隣接権啓発活動
- ・音楽主義発行
- ・関係諸団体への後援助成

### （2）社会貢献の実現／東日本大震災の被災者支援

#### 音楽文化復興支援プロジェクト

東日本大震災被災者支援のため、「NEXUS AID 義援金プロジェクト」に続いて平成23年6月に開設した「音楽文化復興支援プロジェクト（支援金プロジェクト）」を運営し、音楽を通じた被災者支援、音楽文化の復興を目的とした支援金を募り、今期は以下の通り活用した。

支援金累計金額：26,665,166円（平成25年3月31日現在）

### ①ライブハウス大作戦

被災後の宮古・大船渡・石巻の3地域の各ライブハウスに不足しているPAや設備等の購入支援を行った。

### ②宮城県石巻市6保育所への打楽器寄贈

宮城県石巻市内6保育所へ幼児向けの打楽器を寄贈。

贈呈式：平成26年3月14日（金）

会 場：石巻市ふたば保育所

## （3）海外展開支援事業「JAPAN NIGHT」

会員アーティストの海外展開を幅広く推進することを目的として、国内外で音楽イベント「JAPAN NIGHT」を実施し、各国の放送事業者並びにインターネット事業者、プロモーター、コーディネーター等と連携し、積極的な情報発信を行うための準備を開始した。本事業の運営に際しては、各種助成金の活用など関連省庁の援助を要請し、海外イベントの運営効率化や人材ネットワーク等のノウハウを集積し、会員社への情報提供を目的とする。本事業の実施に際しては、ゲーム、アニメ、放送、通信さらにはファッションや食など異業種との連携を図り、クールジャパン法の要件に則した総合的な海外市場開拓のための一翼を担うことを目指しており、放送局並びに大手広告代理店との協議を開始した。

## （4）音楽ミュージアム「MoMM」

25周年記念事業として、当連盟に縁のあるポピュラー音楽並びにアーティストの足跡を記録し、次世代の音楽ファンに継承するため、「音楽ミュージアム」の研究を行った。昨年度に引き続き、主に70～90年代の音楽史、アーティスト活動情報をテーマ別に収集し、デジタルアーカイブ化を推進した。WEBページの大幅リニューアルを実施し、アフィリエイトシステムの導入を行い、過去の名盤を紹介する「ミュージアムセレクト」コーナーを開始した。上記収集データについては、隣接権処理のための補足資料として活用した。

さらに、音楽関連事業者や各種メディア、自治体、文化関連施設等と連携して、収集データを活用した展示会並びにトークイベントを以下の通り開催した。

### ・「70's バイブレーション」協力

展示会開催期間：平成25年3月16日（土）～4月14日（日）

展示会会場：横須賀美術館

共 催：横須賀市／横須賀市教育委員会

トークイベント：平成25年3月17日（日）牧村憲一×松山猛×高橋靖子  
平成25年3月24日（日）武川雅寛×鈴木慶一×あがた森魚  
平成25年3月30日（日）小坂忠×大野真澄  
平成25年4月6日（土）なぎら健壺  
平成25年4月13日（土）鋤田正義×井出情児

## （５）後援助成

音楽文化の振興に寄与するため、音楽芸能の普及及び社会的貢献を目的とした以下の事業に対する後援あるいは協力を行った。

### ①Act Against AIDS (AAA)

青少年に対するエイズ予防の啓発活動を行うAAAに運営会員として参加し、後援した。

### ②音楽著作権管理者養成講座

MPAJが主催する「音楽著作権管理者養成講座」を後援した。

### ③違法ダウンロード防止

日本レコード協会より違法ダウンロード防止のための活動協力依頼があり、協力した。

### ④「70's バイブレーション！」

横須賀市及び横須賀市教育委員会が開催した展示会「70's バイブレーション！」に協力した。

共 催：横須賀市／横須賀市教育委員会

開催日：平成25年3月16日（土）～4月14日（日）

会 場：横須賀美術館

### ⑤MUSIC MATTERS

「JAPAN NIGHT PRESENTED BY BARKS」に名義協力およびSYNC MUSIC JAPANでの広報支援した。

日 程：平成25年5月21日（火）～24日（金）

会 場：シンガポール

### ⑥PRE シンポジウム

PRE シンポジウム「次世代エンターテインメントの行方」に名義協力した。

主 催：映像実演権利者合同機構（PRE）

開催日：平成25年5月23日（木）

会 場：渋谷ヒカリエホール A

#### ⑦チャリティーイベント「届けよう!東海から元気を!! Vol. 3」

チャリティーイベント「届けよう!東海から元気を!! Vol. 3」に後援した。

主 催：届けよう東海実行員会

開催日：平成25年5月11日（土）

会 場：名古屋国際会議場センチュリーホール

#### ⑧第2期アニメビジネス・パートナーズフォーラム

日本動画協会が開催した「第2期アニメビジネス・パートナーズフォーラム」に参加協力及び名義協力した。

主 催：日本動画協会

期 間：平成25年5月～平成25年9月

#### ⑨第10回東京国際ミュージックマーケット（TIMM）

アジアの音楽関係者が東京で一同に会し、アジア音楽産業の発展及び相互の連携を支援することを目的とした「東京国際ミュージックマーケット（TIMM）」を後援した。

共 催：経済産業省、音楽産業・文化振興財団（PROMIC）

開催日：平成25年10月22日（火）～24日（木）

会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA、Zepp Diver City Tokyo

#### ⑩MIDEM/JAPAN STAND 2014

国際音楽見本市 MIDEM において、音楽関連団体ブース「JAPAN STAND 2014」の出展に後援した。

主 催：日本音楽出版社協会

開催日：平成26年2月1日（土）～4日（火）

会 場：フランス・カンヌ 国際見本市会場内

#### ⑪第6回 CD ショップ大賞

音楽を取り巻く様々な課題がある中、CD ショップの現場からもっと音楽を盛り上げていくために設立。メジャー・インディーズを問わず、過去一年間に発売された作品を対象とし、全国の CD ショップ店員の投票によって“素晴らしい作品”を選び、伝えることを目的とした『CD ショップ大賞』を後援した。

主 催：全日本 CD ショップ店員組合

開催日：平成26年3月6日（木）

会場：Zepp Tokyo

## （6）「細川 健 偲ぶ会」実施

当連盟の設立から黎明期かけて、団体の礎を築かれた故細川健元理事長の多大な貢献を称えるため、会員社並びに音楽業界関係者を招いて「細川 健 偲ぶ会」を開催した。

開催日：平成26年1月23日（木）

会場：渋谷公会堂

## （7）関係団体との協力

### ①日本音楽事業者協会（音事協）

プロダクション団体の視点から、多様化する著作権隣接権の健全な概念・処理の在り方の調査、研究を協力して行った。特に、aRmaの業務運営やSYNC MUSIC JAPAN等のプロジェクト展開について協議を行った。また、アーティストの海外展開を推進するため、MTV ASIA（本社シンガポール）と連携し、音楽番組「JAPAN HITS」を製作した。

### ②日本音楽団体協議会（音団協）

音事協、MPAJとともに日本音楽団体協議会（音団協）を運営し、実権利者団体としての立場から、将来の音楽文化普及、啓発に資する活動を行った。

昨年度に引き続き、国内アーティストのオフィシャル情報を英訳し、海外に向けて発信するプロジェクト SYNC MUSIC JAPAN を活動の柱とした。

### ③SYNC MUSIC JAPAN

日本の音楽エンタテインメント情報を世界に発信することを目的として、音団協が主催する「SYNC MUSIC JAPAN」の運営に参加し、海外展開を目指す国内アーティストのプロフィールページを集約統合し、アーティスト活動情報や各種ニュースを英文で配信した。また、将来的に国内アーティストの海外公演を円滑に展開するため、TIMM 及び AFA、SXSW へのブース出展等を通じて、欧米並びにアジア諸国を中心とする日本文化関連フェスティバルのオーガナイザーやコンサートプロモーター、ディストリビューター等への協力要請を推進した。

さらに、プロジェクト運営の効率化とスタッフ育成を視野に入れ、SYNC 運営事務局を慶応大学メディア・デザイン科研究室に移管し、同研究室の学生ボランティアスタッフの参加協力を得た。

### ④コンサートプロモーターズ協会（ACPC）

コンサート・イベント運営における諸問題の解決のため、検討会を開催し、情報共有を

図った。特に、2016年以降に首都圏の主要なコンサート会場が改修、改築のため会場不足となる問題について協議を行った。

#### ⑤音楽産業・文化振興財団（PROMIC）

PROMIC が主催する東京インターナショナル・ミュージック・マーケットに参加協力し、音団協として SYNC MUSIC JAPAN ブースを出展し、海外の音楽市場動向に関する情報収集を行うとともに、国内アーティストの海外展開について側面支援を行った。

⑥以下の3団体に正会員として加盟し、当連盟の会員にとって有益な情報収集や提案を行った。

- ・日本芸能実演家団体協議会（芸団協）
- ・著作権情報センター（CRIC）
- ・肖像パブリシティ権擁護監視機構

#### （8）協議会等への参加

以下の協議会等に参加し、音楽に係る著作権及び著作隣接権の保護の諸施策やデジタル化及びネットワーク化に起因する諸問題への対策、日本の音楽文化やコンテンツ産業の擁護について検討を行った。

- ・AMO 代表者会議（音事協、音制連）
- ・日本音楽団体協議会（音事協、MPAJ、音制連）
- ・SYNC MUSIC JAPAN（音事協、MPAJ、音制連）
- ・映像コンテンツ権利処理機構（音事協、芸団協、音制連）
- ・音楽の国際展開に関するタスクフォース（関係省庁・音楽関係団体）
- ・STOP！違法ダウンロード広報委員会
- ・違法配信対策プロジェクト（関係省庁・音楽関係団体・通信事業者・配信事業者）
- ・コンテンツ海外流通促進機構
- ・民放連「放送番組のネット配信等権利処理に関する連絡会」との協議
- ・放送コンテンツ権利処理円滑化連絡会（総務省実証実験連絡会）
- ・音楽文化懇談会
- ・音楽議員連盟
- ・Worldwide Independent Network（WIN）
- ・スペースシャワーTV 放送番組審議会
- ・MTV 放送番組審議会

## (9) 講師派遣

### ①アニメビジネス・パートナーズフォーラムセミナー

主 催：日本音楽制作者連盟、日本動画協会

開催日：平成25年7月16日（火）

会 場：アサツー ディ・ケイ 11F 会議室

講座名：日本の音楽の海外進出～SYNC ミュージックと海外興業実績

講 師：後藤 匡（SYNC MUSIC JAPAN 運営事務局）

### ②音楽著作権管理者養成講座

主 催：日本音楽出版社協会（MPA）

開催日：平成25年10月17日（木）

会 場：フロラシオン青山「芙蓉の間」

講座名：プロダクション

講 師：池田 正義（理事）

### ③東京工科大学メディア学部寄附講座

主 催：コンサートプロモーターズ協会

開催日：平成26年1月14日（火）

会 場：東京工科大学メディア学部

講座名：メディア特別講義Ⅱ ライブ・エンタテインメント論

講 師：相馬 信之（理事）

以上